

ベータ版・実証向け

自治体・地域団体のみなさまへ

鳥獣害情報管理Webアプリ 「まちまもり」実証導入ガイド

住民・農家から寄せられる鳥獣の目撃・被害情報を、行政の確認・対応記録まで一つにつなぐWebアプリです。対象地域を絞った小規模実証から始められます。

この資料でわかること

実際の画面 / 実証の進め方 / 評価指標 / 安全と責任範囲

PRODUCT

実際に動いている2つの画面

市民・農家が見る公開画面と、行政が確認・整理する管理画面を分けています。

1. 市民・農家向け：地域の情報を知る・報告する



一般公開では、正確な座標をそのまま表示せず、おおよその範囲で共有します。地域の状況を確認し、目撃・被害情報を報告する入口です。

PUBLIC

公開範囲に配慮

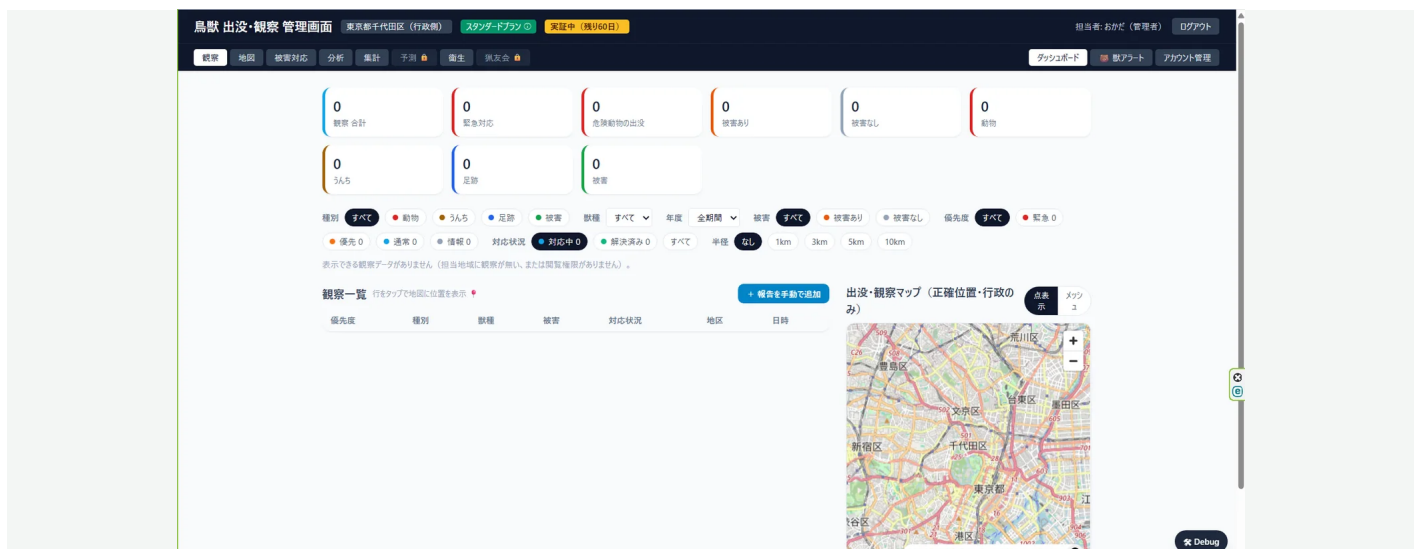
報告者情報は一般画面へ表示しません。

BETA

Webで試せます

現在のベータ版を公開しています。

2. 行政・管理者向け：観察・被害・対応状況を管理する



獣種、被害、優先度、対応状況、期間などで絞り込み、正確位置を行政内部で確認できます。

PILOT PROGRAM

小さく試し、数字と現場の声で判断する

最初から地域全体へ導入せず、対象地域・参加者・期間・役割を決めて実証します。

STEP 01

相談

課題、受付方法、対象地域を確認

STEP 02

設計

参加者、確認担当、公開範囲を決定

STEP 03

実証

小さな範囲で利用状況を記録

STEP 04

判断

継続、改善、対象拡大を検討

実証で測定する指標の例

利用

参加者数、報告完了率、継続利用

運用

確認件数、確認時間、担当者負担

情報

有効な記録数、偏り、重複

成果物

利用状況、現場意見、課題、改善案

実証開始前に合意する事項

- ・対象地域・対象者・扱う報告種別・実施期間
- ・報告受付・内容確認・公開判断・対応記録の役割分担
- ・取得項目・閲覧権限・保存期間・削除方法
- ・事故・障害時の連絡方法と実証後のデータ取扱い

実証期間・費用・支援範囲は個別にご案内します。実証後に自動で本導入へ移行することはありません。

SAFETY & PRIVACY

安全と責任範囲を先に決める

位置情報や報告者情報は、一般向けと行政向けで表示範囲を分けます。

CURRENT DESIGN

一般公開の位置をぼかす

市民向け画面では正確な座標を表示しません。

CURRENT DESIGN

報告者情報を一般公開しない

誰が報告したかを不特定多数へ表示しません。

CURRENT DESIGN

機微情報を権限で分ける

正確位置や罌の情報は一般向けへ公開しません。

緊急通報や行政判断を代替するサービスではありません

人身の危険が迫る場合は警察・消防・自治体など地域で定められた窓口へ連絡してください。捕獲許可、動物種の確定、現地確認、安全対応を自動で行うものではありません。

運営・お問い合わせ

運営	株式会社ノウプラス（stella-app アプリ開発部門）
代表	岡田 英明
所在地	福井県あわら市山十楽60-3
Web	https://stella-app.jp/
ベータ版	https://machimamori.stella-app.jp/
Email	info@stella-app.jp

導入を決めていなくても構いません。地域の状況をお聞かせください。

お問い合わせ：info@stella-app.jp | 通常2～5営業日以内に返信